C

２０２２年度
１月号

虹のひかり保育園だより

2023 年 1 月 4 日
狛江市東和泉 1-32-18
社会福祉法人　雲柱社
虹のひかり保育園
NIJI NO HIKARI Nursery School

あけましておめでとうございます
新年にあたり理事長のメッセージを掲載します
今年もよろしくお願いします

明けましておめでとうございます。
日頃より、虹のひかり保育園に対して温かいご支援をいただき感謝申し上げます。
法人は、今年認可を受けて 70 周年にあたり大きな節目を迎えております。
今後とも、子どもたちの豊かな成長を目指し、「安心・安全」を基本に保育を行ってまいります。
引き続き、事業運営に対するご理解・ご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

「相互互助による共生社会」の実現に向けて

法人の究極の事業目標は、「相互互助による共生社会」の実現であります。
人が互いに助けあう「相互互助」というは、実際は、なかなかに難しいことだと感じています。
法人の創立者賀川豊彦は「一枚の最後に残ったこの衣　神のためにはなお脱がんとぞ思う」と、人助けについての決意を書に残しています。
それはそれで正しいことだと思う反面、現代社会に忙しく生きる私たちには、他人を助ける余裕なんてどこにあるのか。日々の生活のなかで感じるストレスに振り回され、自分自身の心身がだんだん弱くされているように感じるあまり、結局、共生社会の実現なんて程遠いことだと思いがちです。
同じクリスチャンであり、賀川とほぼ同時代に生きた詩人の八木重吉は、「自分が　この着物さえも脱いで　乞食のようになって　神の道にしたがわなくてもよいのか　かんがえの末は必ずここへくる」　（神の道『貧しき信徒』）と詠んでいます。
賀川先生の詩と比較するならば何となく歯切れが悪いように感じますが、人間の弱さに対して真摯に向き合い本質をついているように思えます。他者のために衣を脱がなきゃいけないと思いながらも、神（＝絶対的な真実）の前に立って常に逡巡するのが人間なのだ、と諭してくれています。
進化論の世界では、人間は互いに助け合ってきたことで「種」を残してきたと考えられているようです。「互いの助け合い」がサスティナブルのためのエンジンとなって人間は辛うじて生き残ってきました。であれば、自分に余裕が有ろうが無かろうが、人は人に対してお互いに助け合う存在でなければならないという気持ちを、どんな時にも忘れないようにしたいと思います。
「相互互助による共生社会」の実現については、他者に対するちょっとした気遣いや寄り添い（思いやり）を大事にして支援するところから出発したいと考えます。
今年も、互いに幸せな気持ちで毎日が過ごせますように。　お祈りいたします。

社会福祉法人雲柱社理事長　小礒　満

【1 月予定】

１１日　（水）合同礼拝とお話会（お正月）　ＡＭ10：00～
10 日（火）～24 日（火）　**フードドライブ**
この期間、玄関にコンテナを置きます。賞味期限が 1 か月以上残っている、常温保存のできる未開封の食品を入れてください。
〈寄贈できるもの〉
・お米・レトルト食品・缶詰・瓶詰・お菓子・乾麺・インスタント麺（カップ麺）
〈寄贈できないもの〉
・賞味期限切れ、間近な食品・野菜、肉などの生鮮食品・嗜好品
チラシを参考にして下さい
１８日（水）　「音楽の街―狛江」推進事業　エリアコンサート（会場は虹のひかり保育園です）
世界の楽器をテーマに管弦楽器を中心に披露してくれます。　4・５歳が参加予定です。
１９日（木）避難訓練
２４日（火）誕生会

【２月の予定】

１日（水）　合同礼拝　お話会（節分）AM10:00～
２１日（火）　２月誕生会
28日（火）　新入園児健康診断（3 月 2 日もあります）面接は 1 月後半～2 月前半にかけて順次行う予定です
★2 月の保護者会は zoom 又対面で行うか検討中です。時間も含めて 1 月 13 日（金）に詳細を各クラスからお知らせ致します。

【お知らせ】
＊来年度の継続書類提出は **1/20（金）** までです。配布した封筒に入れ、職員に手渡ししてください。まとめて市へ提出しますので期限厳守でお願いします。

【お礼】
クリスマス献金に温かいご協力ありがとうございました。
総額 34140 円をワールドビジョン・ジャパンへ寄付することができました。

＊昨年末園内でのコロナ感染者が増えてしまい、１２月のクリスマスものがたりは、幼児揃って行うことができなくとても残念でした。都合をつけていただいていた保護者の方々申し訳ありませんでした。日頃から、自粛などご協力していただき感謝しております。

１月の聖句
「成長させてくださったのは神です。」コリントの信徒への手紙Ｉ　３章６節

子どもたちの一年の成長には喜びと驚きを与えられます。子どもたち自身の内に成長する力が与えられていることにもよりますが、人は多くの人の愛に包まれて、育まれていくものです。その愛の働きを支えてくださっているのは神様です。なぜなら「神は愛である」からです。新しく迎えたこの年、日々私たちを成長させてくださる神様に感謝を覚えつつ歩んでまいりたいと願います。

祖師谷教会牧師　小河由美子